

2009年「景観講座」開催案内

第7講 テーマ『実務の中の素材』

11月19日(木) 18:30~20:30



概要

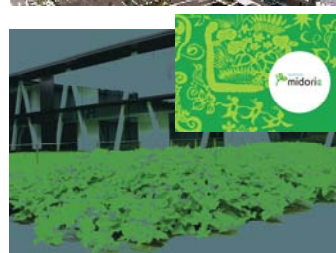
講師 **勝田幸仁朗** 物林株式会社 環境・景観事業部 企画開発室

「実務の中の素材」について概要をお話しするとともに、素材〈木材編〉〈アルミニウム編〉〈緑化編〉の講師をご紹介します。

〈木材編〉

講師 **宮林 正幸** 物林株式会社 技術顧問
ティー・イー・コンサルティング 所長

景観を検討していく中で、重要な要素となる素材選びの方法を具体的な事例を踏まえご紹介いたします。又、今まで室内使用がメインであった木材の外部使用について、木材の景観検討の中での価値と導入に対する技術的な注意点などご紹介いたします。



〈アルミニウム編〉

講師 **鈴木 稔** (株)住軽日軽エンジニアリング 商品開発グループ長

“人⇒生活⇒都市”と日常～公共空間のさまざまな場面で利用されている『アルミニウム材』を、今後の環境社会においても都市景観形成の有効な素材として再認識できる様、基本特性や関連製品・新技術の事例等を紹介する。



〈緑化編〉

講師 **金山 典夫** サントリーミドリエ(株) 代表取締役社長

サントリー(株)2008年に環境緑化部を新設し環境緑化事業に参入。自社開発したシステムや、独自のメンテナンス体制を構築し、みどりを自由にデザインし、室内、屋外、屋根、壁面でもどこでもみどりを取り入れることを可能としました。景観資材としての『みどり』を再認識していただくために日々努力しています。今回はこのミドリエシステムの技術概要をご紹介しますとともに、当社が考える景観の中での『みどり』についてご紹介いたします。



第8講 テーマ『都市空間におけるアートの実践』

12月17日(木) 18:30~20:30



講師 **工藤 安代**

パブリックアート・コンサルタント、NPOアート&ソサイエティ研究センター 代表理事

近年、都市とアート活動はより刺激に満ちた関係へと変容している。美術館の中での展示から都市の雑踏へと拡張していくアート。この新たな試みが都市空間に与える波紋力を国内外の事例等を通じて解説する。



□フランツ ウェスト

□シアトル オリンピックパーク 彫刻公園

会場案内

◆会場

デジタルハリウッド秋葉原校 セカンドキャンパス
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-1-16
ガイドーリミテッドビル 7階

注)19時で正面入口は閉まります。その後は裏口からお入り下さい

アクセス

JR「秋葉原駅」電気街口徒歩1分
地下鉄日比谷線「秋葉原駅」徒歩5分
銀座線「末広町駅」徒歩5分
つくばエクスプレス「秋葉原駅」電気街口徒歩3分

◆参加費

①TDA正会員・賛助会員(団体を含む)・学生(デジハリ大学生を含む) 2,000円/回
②一般 3,000円/回 [全8回前払いの場合は、①は12,000円、②は20,000円]
なお、参加申込及び参加費振込については、下記URLで確認して下さい。



主催 特定非営利活動法人 景観デザイン支援機構 (TDA.J)

[お申込み] <http://www.tda-j.or.jp/> ※定員100名(先着順)

[お問合せ] Tel: 080-6722-4114

※本講座は「都市計画CPD」プログラムの認定を受けています